

市立学校に再任用校長の配置を開始します

千葉市では、教職員の大量退職の時期を迎えるなかで、安定的な学校運営を進めるために、新たに再任用校長を配置することとしましたので、お知らせします。

1 経緯

千葉市では、平成30年度から3年間で、約150名の校長が退職します。大量退職の時期を迎え、経験豊かな校長が減ることになるなかで、学校を管理運営する上での知識や方策の伝達を円滑に行い、本市学校教育の安定的な運営を進めるために、経験豊富な再任用の校長を配置するものです。

2 配置開始時期

2019年4月から

3 2019年度の配置人数等

(1) 配置人数

若干名

(2) 任用期間

2019年4月1日から2020年3月31日の1年間

※なお、2020年4月1日以降の再任用の実施及び人数については、配置による効果と課題について総合的に判断し、決定します。

(3) 職務及び給与

再任用校長の職務は、定年前の校長と同一です。また、給与については、再任用職員の給与体系が適用されます。

4 選考

本年度退職する校長の中で、再任用の校長を希望する者を募り、その中から管理職としての優れたリーダーシップや意欲、勤務実績や人事考課などを総合的に判断して選考します。

5 配置校

市立小・中・特別支援学校の中から、豊富なキャリアや能力が学校経営に活かされるよう、適性や専門性などを考慮して配置校を決定します。

<参考>

他政令指定都市の状況について

文部科学省の「公立学校教職員の人事行政状況調査」の結果によると、平成29年度は、横浜市、大阪市など政令指定都市8市で配置しており、合計266名の校長が再任用されています。